

衆議院議員選挙の結果について

2017年10月23日
電気事業連合会
会長 勝野 哲

このたびの衆議院議員選挙の結果、与党が過半数を大幅に上回る議席を獲得したことは、経済政策をはじめとした現政権の路線に対する信任であり、安定政権の下で、引き続き、迅速かつ着実に政策を推進していくことへの国民の期待の表れと受け止めている。

わが国には、経済再生、外交・安全保障、社会保障、さらにはエネルギー政策など重要課題が山積している。引き続き、与党が政治のリーダーシップを発揮し、これらの課題の解決に向けた取り組みを着実に推し進めていただくことを期待する。

特に、エネルギー政策は経済活動や国民生活に関わる極めて重要な政策課題であり、足元での経済成長の歩みをより確実なものとするためにも、エネルギーの安定的な確保が不可欠である。

先般、エネルギー基本計画に関する議論がスタートしたが、S (Safety:安全確保) +3E (Energy Security: エネルギー安定供給、Economy: 経済性、Environmental Conservation: 環境保全) の同時達成や、資源に乏しい我が国の実情を踏まえた、継続性のある現実的なエネルギー政策を展開いただくようお願いしたい。

以 上